

台付皿形土器

縄文時代(約3500年前)



始良市・千迫遺跡

(随時掲載)

「盛る」ための器です。貼り付け文や彫り込み、透かしなどの文様のほか、赤い色や白い色が塗ってあるものがあり、極めて装飾性の高い土器です。白い色は日本でも最古級の使用例です。

(県立埋蔵文化財センター)